消防救急デジタル無線更新及び高機能消防指令システム整備工事に係る
公募型プロポーザル評価基準

	評価項目	評価内容	配点
企業に関する要件			
1	業務実績	直近10年間の消防救急デジタル無線及び高機能消防指令センターの納入実績	10
2	業務実施工程・体制	無理なく確実な業務工程となっているか (庁舎移転に伴う新庁舎建設業者との協議、打合せ方法等を示すこと) 知識や経験を有する人材が適切に配置されているか	10
システムの要件			
3	機能の実現について	要求水準書記載の機能の実現の可否について示すこと できない場合は代替案を具体的に示すこと	20
4	高機能消防指令システムについて	通報受付から出動指令までの迅速性・確実性・効率性を資する機能について提案すること (1)ヒューマンエラー防止のための機能、発生した場合のリカバリ方法を提案すること (2)通信指令員の負担を軽減するための工夫を示すこと	20
5	消防救急デジタル無線システムについて	新システムの優位性等について示すこと (1)基地局設備の構成、性能や特徴について (2)移動局設備の構成、性能や特徴について	20
6	安全なシステム移行について	新システムへの移行手順について示すこと (119番通報の切替当日の移行手順について具体的に提案すること)	20
7	各装置の省スペース化及び省電力化と冗長性について	納入する機器について、通信指令室・機械室内で省スペース化及び省電力化と冗長性が図られた提案となっているか	10
8	拡張性・柔軟性	将来を見据え、広域化・共同運用に備えたもので、拡充時に容易に対応できるシステムを提案すること	20
9	防災行政無線との連携について	構成町の防災行政無線との連携について具体的に手法を示すこと	20
10	財政措置の適用	緊急防災・減災事業債を適用するための課題と対策について提案すること (1)機能強化を伴う消防救急デジタル無線設備の更新について (2)標準仕様書に基づいた高機能消防指令システムの整備について	30
11	その他の提案	設計図書に記載していない、消防本部に有益な提案があれば記述すること	10
運用・保守			
12	職員向け操作研修について	システム稼働前の操作研修について示すこと システム稼働後の操作等に関するサポート体制について示すこと	20
13	保守体制について	運用保守体制について示すこと 障害発生時の迅速な対応について示すこと	20

経済性			
14	整備費用の低廉化	整備費用の低廉化のための具体的な施策を示すこと	20
15	維持管理費用について	<p>本システムの運用維持費用を軽減するための対策について提案すること</p> <p>運用開始から10年間に必要な費用について、示すこと</p> <p>(1) 消防救急デジタル無線設備の保守費用</p> <p>(2) 消防指令システム設備の保守費用・中間更新に係る費用</p> <p>(3) 有償交換部品の費用</p> <p>(4) ネットワーク回線(専用線)使用料等の費用</p> <p>(5) 無線免許の更新・無線局定期点検等の費用</p>	30
価格点			
16	価格について	整備費用	40
合 計			320

(様式第 10号)

運用開始から10年間に必要な費用について

※参考見積として提出すること

1. 消防救急デジタル無線の保守費用
2. 高機能消防指令システムの保守費用
3. 有償交換部品の費用
4. 無線免許の更新・無線局点検の費用
5. ネットワーク回線（専用線）使用料等のランニングコスト